

あそびまつりだより NO.12

2017.10.19

頌栄幼稚園

あそびまつりにむけて、毎朝、こどもたちは自分の挑戦したい遊びにチャレンジしています。一人でもくもくと自分のしたいチャレンジをする子、友達と一緒に楽しんでいる子、十人十色です。

一輪車～年長児

年少、年中、年長と練習を重ねてきた年長の一輪車の子どもたち。一人で幼稚園の園庭のはじから、はじまですいーっとこげるようになった子たちが増えてきました。でも、さすが年長さんです。次は後ろ向きに進もうとしたり、お友達と一緒に手をつないで進もうと頑張る姿が見られています。



「よし、次は5人手つなぎ！！！」

「〇〇ちゃん、〇〇ちゃんみんな並んでならんでー！！！」

「いっせーの一で！！ …うわあああ。」(バランスを崩してこけてしまいました。)

でもこけてもへっちゃらです！「あはははは〜」と笑い声が響いています。うまくいってもいなくても、子どもたちにきらきらと笑顔が光っています。何度も何度も繰り返して起き上がって、友達と一緒に挑戦する姿、さすがだなあと関心する教師でした。

一輪車～年中児

年長さんの手つなぎ一輪車の技をみて、年中の子どもたちが自分たちもできるようになろうと頑張っています。あるとき、年中児に年長さんに一輪車のことで聞きたいことある？と聞いてみました。

年中児：わたしね、メリーゴーランドできるようにになりたいの。

年中児：わたしは、手つなぎができるようになりたい。。

年長児：手つなぎはね、端っこのひとが難しいから、

真ん中にまだたくさん乗れないこが入ったらいいんだよ。

年長児：毎日毎日練習したらできるよ！

そこで、年中さんを真ん中に、年長の子どもたちがリードして手つなぎ一輪車を一緒にし始めました！じゃあこうしたらいいんだよとすぐ教えてくれる姿、年長さんの優しい関わりが眩しかったです。一緒に手をつないで頑張ろうとする年中の子どもたちの表情も、とても嬉しそうでした。

年長から年中へ、大きくなった喜びや憧れの気持ち、いろんな素敵な思いが渦巻くチャレンジの一場面でした。



巧技台～年少児

巧技台の組立てや、お片づけ。自分より大きなはしごや一本橋をお友達と一緒に協力して運ぶ子どもたちの姿が見られるようになってきました。いざ遊ぶぞ！と張り切って巧技台に登る年少児。しかし…、よく見ると足元は靴下を履いたままでした。

教師：あ、なんか滑りそう…。(つぶやく) → そこへ…

年長児：靴下を履いたままだったら、つるんって滑ってこけるかもしれないからはだだよ！

靴下を履いていた年少児ははっと気づいた顔で、靴下をぬいでいました。どうしたら安全に遊べるのか、大人が言わなくてもお兄さんお姉さんたちが考えて伝えてくれています。

子どもたちの伝え合う力、異年齢の関わり、いろんな成長が見える朝のチャレンジです。



一輪車



友達と一緒にがんばったり、
ひとりで挑戦したり！
どれもみんな一人一人の
チャレンジです！

鉄棒



竹馬



さあ、どこまでい
けるかな？

こっぼり



跳び箱



おうちの人と一緒に
作った竹馬！
たくさん練習したよ！

巧技台



登るのだって
チャレンジ！

やっとついた！

うんてい



うでのちからを
いっぱい使って
よいしょ！よいしょ！

鉄棒



ぶたのまるやき！

他にもやっこ、トンネル、トランポリンと…まだチャレンジがあります。そして、最後のお片づけまでがチャレンジ！ 当日の子どもたち一人一人のチャレンジをお楽しみに！！